

【随筆 一瞬を切り取る】

【カテゴリ / 随筆・時評】

【2012年 第15号 掲載】

## 随筆

# 一瞬を切り取る

(株)環境設計国建  
宮城 勝

「一瞬を切り取る」さて何のことだ？答えは「写真」である。

最近は少し御無沙汰であるが、今でも外出の際には小型の一眼レフカメラを持って出る。

カメラは小さい方が手軽で荷物にならないが、どうもコンパクトデジカメは苦手だ。やっぱりファインダーを覗いて撮る方が好きですね。

液晶画面だとよく見えないし、まず老眼鏡が邪魔になりましてね・・・じっくり来ません。



私がカメラを始めたのは8年くらい前である。 会社を分社する際に戴いた退職金の中から、自分への褒美としてデジタル一眼レフカメラを買った。熱心なカメラファンということでもなかったが、昔からなんとなくやってみたかったし、店頭でカメラを触っていたらズッシリとした重さや重厚さにフツフツと物欲が出て買い求めたのである。撮り始めると楽しくて、今では〇万円もするレンズを妻に内緒で買ったりするほどになってしまった。(写真は全てオリジナル、モデルの掲載許可も得ております。スズメは別ですが…)

このごろは寄る年並みで朝が早く、5時半ころには目が覚める。そろそろとカメラを持って朝の散歩に出かけると、夏場の朝6時はもう太陽が地平線から顔を出していて、普段光が当たりにくい所まで朝の光が差し込み、近所の風景が普段と違う表情を見せる。

それを撮り歩くのが楽しい。住宅街を歩いて花を撮ったりネコを撮ったり、被写体はいくらでもある。

近頃は盗撮なども多いから、「へんなオジサンがいる」なんて言われないように注意しなければならないが…。



いろいろ撮ってきたけれども自分が好きな被写体は人である。人の写真を撮るのが面白い。でも最近は個人情報保護もあって町中を歩く人の写真を撮っても公に見せるわけにはいかなくなってしまった。だからモデルは自分の周囲の人が多い。でも「撮らせて下さい」とお願いすると男も女もたいていは断られる。一眼レフはカメラもレンズも大きいから特に女性の場合はカメラを向けると逃げていく。だから少し離れて望遠レンズで撮る。望遠だと撮られる方もカメラを意識しないので自然な雰囲気撮れる。

いろいろな表情が欲しいから、一人の人に30~40枚くらいシャッターを切っている。その中からいい雰囲気の写真を選んで見てもらえば、その次からはすんなり撮らせてくれることが多い。一眼レフを手に入れた頃は、不慣れな上に「綺麗に、カッコ良く撮ろう」とアレコレ考え過ぎて、結局印象に残らない平凡な写真しか撮れなかった。

「なんだコレ？カメラが悪い？」

などと機材のせいにもした。

でも場数を踏んでくると撮り方がわかってきた。要はどんどんシャッターを切ればいいのだ。当たり前のようにそれが大切だと思う。



最近は結婚式の写真を頼まれることもある。挙式は専属のプロカメラマンがいるので、それ以外を担当させて頂くわけだが、人生に一度のことなので失敗するわけにはいかない。責任重大だがデジカメなので撮ったらすぐ確認できるから大きな失敗はしない。フィルムも不要なので幾らでもシャッターを切れるから安心である。

たいていひとつの結婚式に2000枚くらい撮る。その中から200枚ほどを選んでお渡しする。1割当たればいいと思っている。上手く撮ろうと考えず、基本的な設定が終わったら、あとはカメラにまかせて直感で「今だ！」と感じた時にシャッターを切る。「数打ちゃ当たる」これ写真の極意だと思います。ひたすら撮る、シャッターチャンス逃さない、恥ずかしいなんて考えずどんどん前に出てシャッターを切る。そうすれば喜ばれる結婚式写真になる。

人の写真を取る場合は光を意識している。女性は明るく撮りたいし男はなるべく影を作るように撮る。

その方が実物よりカッコイイ。「写真は真実を写す」と言われるけど「写真は嘘つき」でもある。いかにキレイに嘘でもいいからカッコヨク見せるか…これが「ウマイ！」と言われるコツだと思っている。

人はリラックスしている時に必ずいい表情になる。ピースなんかしている時に撮ったって表情は硬いしあまりいい写真にならない。皆さんがピースしている時にシャッターは切るがボツにすることが多い。

一瞬だが「いい！」と感じる表情が出るまで待ってそれを切り取るのである。女性の場合はその人に恋する気持ちで寄って

行く。その結果、女優か…と思う写真だっただけである。手渡す時にニコツと「あら、いいんじゃない」と言われたら正直ホッとす。 「これ私？」 「もう撮らないで」と言われたことも過去にはありましたが…。

10枚のうち1枚、100枚のうちの1枚でもいい、輝く一瞬が切り取れれば成功だ。その数を増やせば立派な写真集になる。喜んでもらえる。

基本的なことを押さえて、あとはお客さんに喜んでもらえる方法を考える。

我々の仕事と同じですね。

さて、いろいろ撮ってきたけどヌードはまだ無い。

きれいに撮ります、誰かいませんか？



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会